

参考資料

【一人制審判法ハンドブック】

H 2 3 年度版

東京都少年サッカー連盟・東京都中央大会用

(財)東京都サッカー協会

東京都少年サッカー連盟・審判部

※一人制審判の推奨

- ・ 審判から見える見えないにかかわらず、選手はゲームの精神を尊重して全力でプレーする
- ・ 自己申告を含め、ゲームを協力してスムーズに進めていく
- ・ 選手はプレーに集中し、判定に従って次のプレーに移る
- ・ 互いにリスペクトしてゲームを成り立たせていく（指導者、サポーターを含め）
- ・ 審判にとっては、ゲームを読み全体をコントロールしていくことを心がけることで、審判能力の向上につながる

* 8人制競技



= 1人審判



推奨

* J F Aハンドブック抜粋*

●一人制審判の目的

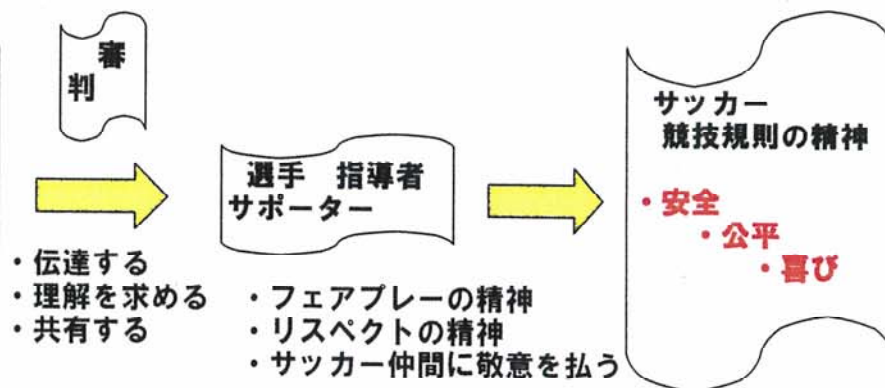
- ・ 選手と審判が相互にサッカーを理解する
- ・ 基準の共有（どのレベルでも同じ基準を共有する）

① 選手 ⇒ 笛が鳴るまでプレーする

- ・ ファウルを誘って倒れたり、倒れながら審判を覗くようなことがない
- ・ 倒れてもすぐ起きてプレーを行う
- ・ 間違いを受け入れる ⇒ 審判が3人で行っても間違いはある

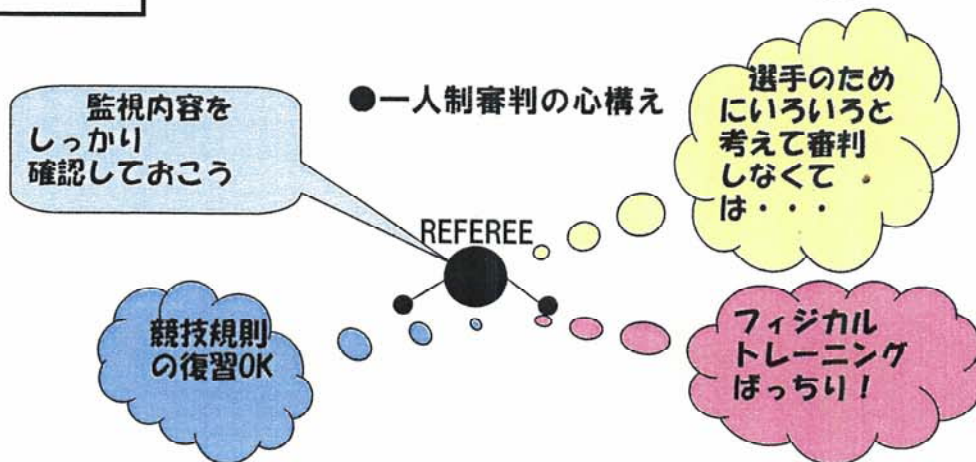
② 審判 ⇒ ゲームを読む力を養う

- ・ 選手の意図を読む、次を予測する
- ・ 激しくても正当なプレーと、小さくても汚いプレーを見極める
- ・ 選手と同じ目線でレフェリング（サッカー感で判定）



●一人制審判の留意点

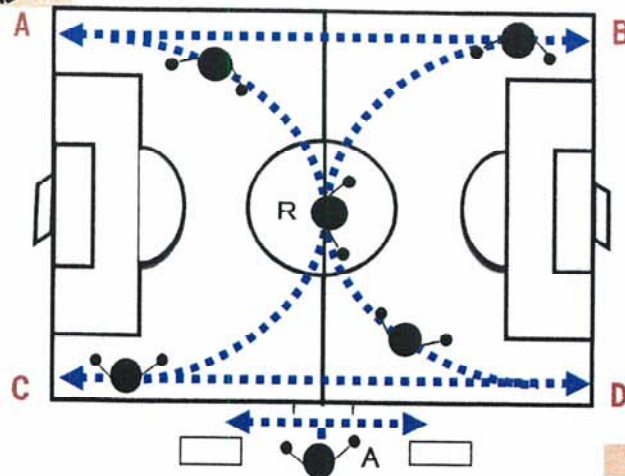
- ・ 選手のセルフジャッジを尊重する
- ・ 疑わしきは罰せず・・・はいたし方ない
- ・ 公正・平等に一貫性ある判定
- ・ 次の争点の予測と、ポジショニング、動き
- ・ 選手のプレー及びプレーゾーンを邪魔しない
- ・ 競技者の体調、負傷への気づき、配慮



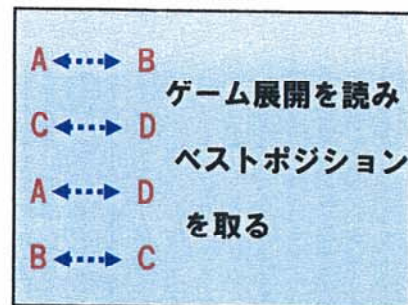
●位置取りと動き方及び留意点

● 位置取りと動き方及び留意点

1・全体基本形



* 主 審



正しい

- ・ 広い視野の確保
- ・ 説得力ある位置、動き

留意点

- ・ 全体像が見える位置
- ・ 適切な距離確保
- ・ プレーを邪魔しない
- ・ 対角線法を意識し過ぎない
- ・ 公正、平等な判定
- ・ ラインジャッジも意識

* 補助審判

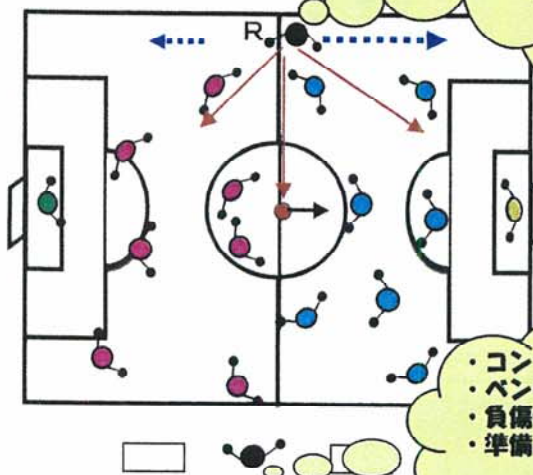
適切な援助をするために

留意点

- ・ フィールド全体が監視できる位置及び視野を持つ
- ・ ベンチコントロールする時は近くまで移動する
- ・ 常に主審とアイコンタクトを取る
- ・ 立っていても、座っていても良い

2・キックオフ

- ・ 両チーム選手の位置
- ・ ボールの位置、静止
- ・ ボールは前方移動
- ・ 相手選手の進入有無
- ・ キックオフシュート有無
- ・ 補助審判とのコンタクト

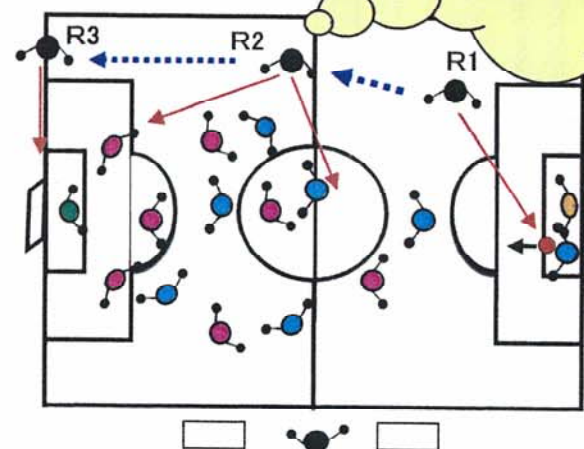


- ・ 補助審コンタクトOK
- ・ ベンチよいな...
- ・ 時計スタートして笛だな
- ・ 進入するなよ
- ・ ボールは前に移動だ〜二度触りに注意だ
- ・ 次の争点はファウル、オフサイド〜ゴール前注意
- ・ 逆襲にも備えておこう
- ・ こちらが、予備審、ベンチがよく見えるなあ...

- ・ コンタクトOK
- ・ ベンチOK
- ・ 負傷者対応大丈夫
- ・ 準備よし...

3・ゴールキック

- ・ 相手選手の位置
- ・ ボールの位置、静止
- ・ ペナルティエリアを直接出るか
- ・ ボール落下点の争い監視
- ・ 次の展開予測

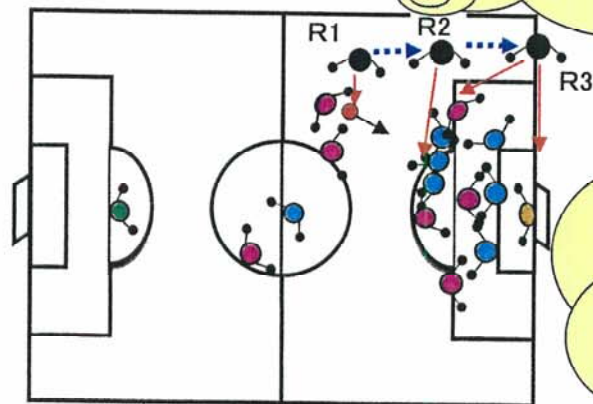


- ・ ボール位置、静止OK
- ・ どこまで飛ぶか・落下点でファウルするな
- ・ 事前に注意も有りだ・
- ・ 次の争点はファウル、オフサイド〜ゴール前注意
- ・ 逆襲にも備えておこう
- ・ 選手位置により反対サイドポジションもありえるな

4・フリーキック

ゴールに近い位置

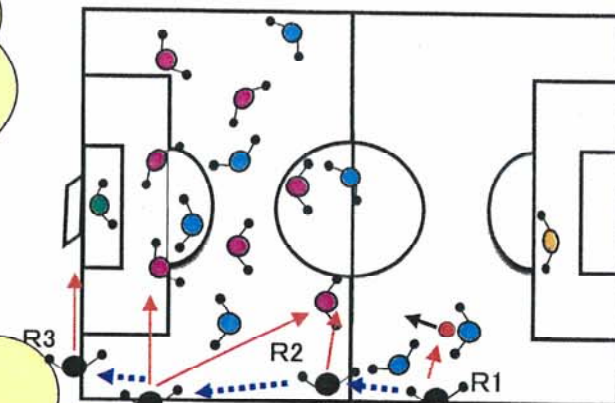
- ・ボールの位置、静止
- ・即攻の可能性はあるか・・・
- ・守備側選手の壁の距離は・・・
- ・壁付近のポジション争い・・・
- ・壁からの飛び出しに注意
- ・次の争点、オフサイド監視



- ・ポイント、壁距離チェック・
- ・即攻は・・・飛び出し
- ・止めるか・笛の再開をはっきり
- ・ペナルティー、ゴールエリア内の争いに早目の介入だな・・・
- ・次は、オフサイド～ゴールラインの監視・逆襲にも準備

- ・ポイント、壁距離、チェック
- ・即攻有無
- ・壁飛び出し
- ・次の争点～オフサイド、ポジション争い～ゴールライン監視まで・・・もちろん逆襲あり
- ・予備審が背中だなあ・・・

ゴールに遠い位置

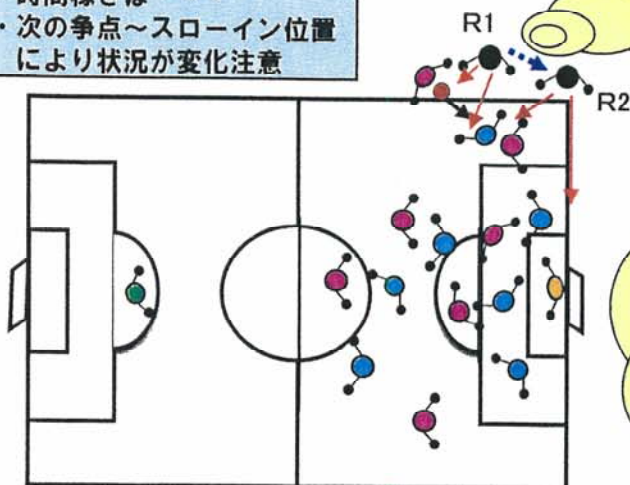


- ・主審がこちらに位置するときは、ベンチはまかせて！

5・スローイン

ゴールに近い位置

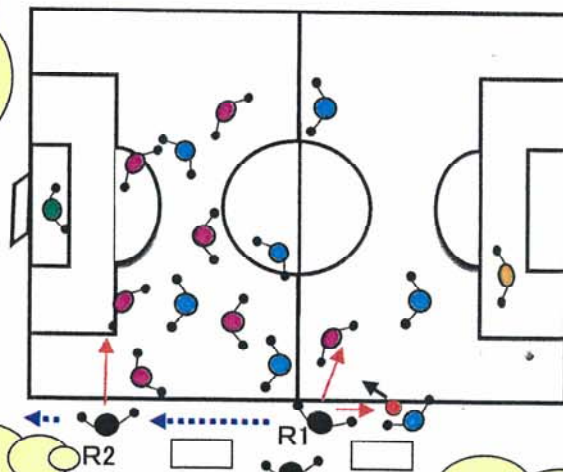
- ・再開ポイント
- ・相手選手の距離は・・・
- ・スロアーの監視・・・
- ・時間稼ぎは・・・
- ・次の争点～スローイン位置により状況が変化注意



- ・ポイントは・・・相手の距離は・・・
- ・邪魔しないよ・・・
- ・ロングスローがあるかも・・・
- ・ゴールに近いとイッキにゴール前まで展開、オフサイドも監視
- ・ゴールライン監視位置まで移動だ
- ・ゴール前争い注意・・・

- ・ポイントは・・・相手の距離は・・・
- ・邪魔しないよ・・・
- ・時間稼ぎはNG
- ・落下点の争い監視
- ・ゴールまで遠いが、次にオフサイドあり・・・
- ・スロアーの前方位置が次の争点見やすいなあ・・・

ゴールに遠い位置

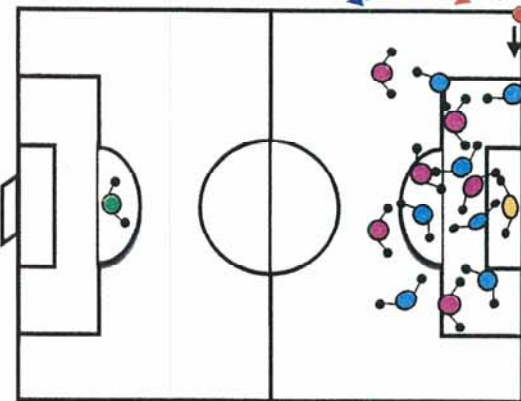


- ・主審とのコンタクトが今一
- ・でも、しっかり援助するぞ・

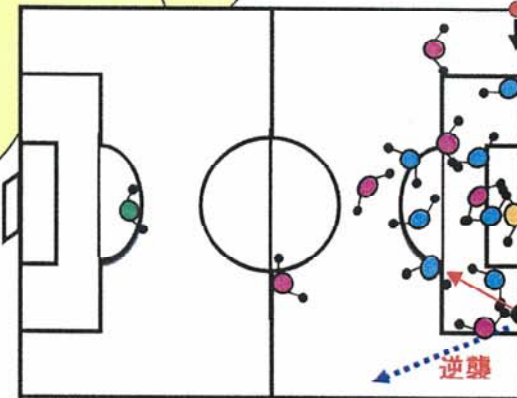
6・コーナーキック

- ・ボールの位置、静止
- ・即攻の可能性はあるか・
- ・守備側選手の壁の距離は・
- ・ゴール前のポジション争い・
- ・ゴールラインの監視・
- ・オフサイド監視、逆襲に備え

逆襲



- ・ここだと、全体が監視できそう・
- ・逆襲の移動時、選手と交錯しないぞ・
- ・ゴール前の争いに注意
- ・蹴った後のオフサイド有無・
- ・ボールアウト、得点に注視
- ・逆サイドのコーナーの時は、ゴール位置が視づらいかな・

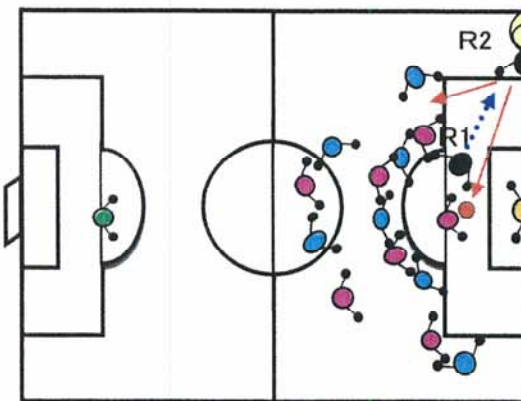


- ・ボールセットを
見てから移動だ
な・
- ・リスタートが早いと
移動し難いなあ・

- ・ゴールラインは近くで
監視OK
- ・ゴールに近すぎると、
全体が視づらいし、
逆襲のとき、選手と
交錯しなければ良いが
なあ・
- ・後ろに選手はいないと
思うが・

7・ペナルティーキック

- ・ボールの位置、静止
- ・キッカー特定～フェイント注
- ・両選手の位置、侵入、距離不
- ・合図後、キックさせる
- ・キーパーの位置
飛び出しに注意
- ・ボールがゴール
ラインを越えたか否か

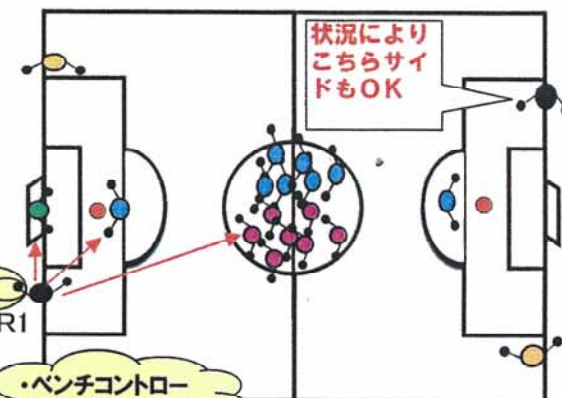


- ・キッカーは誰・・笛で合図だよ
- ・キッカー以外の選手の位置は良いか
- ・もし、侵入、飛び出しがあってもキックさせるけど、結果によって再開方法が違ってくるので、しっかり監視して適用を間違えないようにしなくては・
- ・ゴールラインの監視は慎重に・

- ・資格ある競技者以外いないよな・
- ・キーパーの飛び出し、キッカーのフェイントに注意だ・
- ・ボールがゴールラインを超えたか否か
- ・選手の交代は、適用が色々なケースがあるから注意しなければ・
- ・結果が次でどうなるか、把握しなくては・

8・ペナルティーマークからのキック

- ・試合の一部ではない
- ・資格ある競技者の確認
- ・両チーム選手の数と同じでセンターサークル内位置
- ・キッカーのフェイント、キーパーの飛び出しに注意
- ・ボールがゴールラインを越えたか否か



- ・ベンチコントロールはまかせて



● 補助審判の役割と留意点

- ・主審がその任務を続行することが出来なかった場合にその職務を行う
- ・主審によって要請された、試合の前、中、後の管理上の任務を援助する
- ・特に負傷者が出た場合、迅速な対応が必要となる
- ・競技規則が正しく適用され、試合が終結されるよう援助する
- ・ただし、ジャッジは行わない（不公平、不平等の抑制）
- ・アディショナルタイム表示が必要とする場合、主審の指示に従いその任務を遂行する
- ・交代の手続きが円滑に行われるよう主審を援助する、特にゴールキーパーの交代については補助審判の責任において交代手続きを援助する
- ・競技者の負傷治療、止血後および用具不備是正後のフィールドへの再復帰については、主審に承認を得るとともにスムーズな対応を行う
- ・ベンチコントロールを常に意識し、紳士的な態度で対応する、なお、チーム役員が責任ある態度で行動しない場合、主審に通知する
- ・試合の記録をとる（得点、懲戒罰、グリーンカードなど）・・・特に主審が見えていなかった不正行為やその他の出来事の記録
- ・その他、事前の打ち合わせにより主審から援助要請があった事柄

● グリーンカードの推奨について

* For PLAYERS の原点

RESPECT

・リスペクトを求めるには、審判もリスペクトが必要

全力を尽くす、お互いに助け合う、フェアに戦う、仲間を大切に
する、サッカーを楽しむ環境を与えてくれる人に感謝していると
感じたならば、
グリーンカードを示そう。

* グリーンカードはどのような時に提示するのか・・・具体例

- ・怪我をした選手への思いやり
- ・意図していないファウルプレーの際の謝罪や握手
- ・自己申告（ボールが境界線を出た時：スローイン、CK、GK、ゴール）
- ・問題となる行動を起こしそうな味方競技者を制止する行為
- ・チーム（オフィシャルを含む）が試合全体を通じ、警告も退場も受けず
ポジティブな態度を示す
・・・など

* グリーンカードを提示する時に注意すること

- ・試合の流れを止めない
- ・ポジティブな行動の意図を見極める
- ・躊躇せずに示す
- ・誰に示されたのかわかりやすいように
- ・声やジェスチャーのみをほめたたえるのもよい